

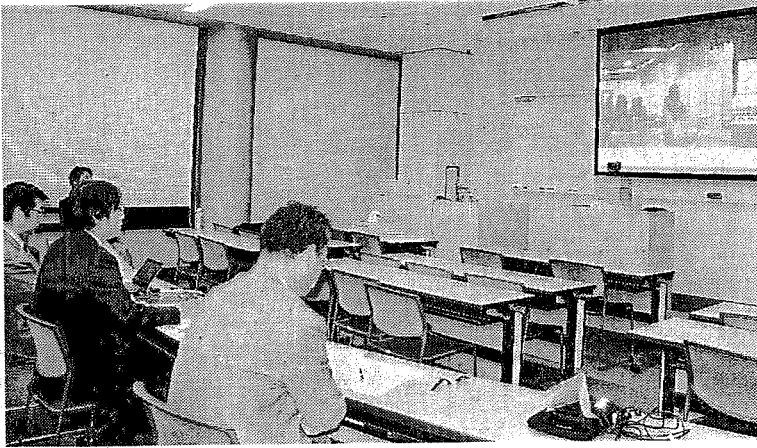


発行所(〒371-8666) 前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
 電話 市外局番(027)
 (編集)254-9933 (広告)254-9944
 (販売)254-3131 (事業)254-9955
 (印刷)254-9985 (出版)254-9966
 (印刷)254-9881 (発送)254-9984
 (総務)254-9977 (総合)254-9911
 ©上毛新聞社 2007年

村恋婦

観光アピール法探る

東京の
 明治大と 遠隔講座で意見交換



明治大では、教授陣がテレビの向こうの村民に地域ブランドについてアドバイスした

明治大と村恋婦が連携した、農業で観光振興を推進するためのリーダー育成講座が、東京・神田駿河台の明治大駿河台キャンパスで開かれた。二回目は、キャンパスと村役場をテレビで結んだ「遠隔テレビ講座」。同大教授と受講生の村民が、ブランド作りや村のアピール方法について意見を交わした。

この日は講義と討論が行われた。講義では講座を進める教授陣が「市民と行政、大学が連携して村の良さを掘り起こす」とはいいこと、「村恋婦しかできないこと、どこ

が秀でているのかを示すコンセプトが、ブランド作りで大切」とアドバイスした。グループごとの討論では、来年一月に村の特産品を持ち寄って同大で開く展示会について話し合

われ、受講生たちがキャベツや正月飾り、方言を紹介することを希望した。参加した久保八百子さん(56)は「知っているよ

うで知らない村のことが意外とある。講座を通し、一人でも多くの人が村を訪れ、いろいろな良さを知ってもらえるようにしたい」と意気込みを語った。講座は、村の魅力を再発見し、新たなブランドを探るのが狙い。村民だけが知るノウハウを同大が協力して広める。受講生は来年三月まで、四ヶ月書を作るほか、同大が「大・村恋婦アピール」に分かれて成果報「来年夏に開校する「明治ジ」で講師を務める。

2007年12月11日 上毛新聞